

29年度 決算のあらまし

29年度の各会計決算がまとまり、9月の市議会定例会に提案し、認定されました。

一般会計

市の財政の柱となる一般会計の29年度決算額は、歳入が1396億5814万円、歳出が1386億2561万円で、歳入歳出差引額は10億3253万円となりました。これから30年度へ繰り越す976万円を差し引いた実質収支額は、10億2277万円の黒字となりました。

なお、当初予算で予定していた財源調整のための減債基金からの繰り入れ5億円は取り止めました。

29年度決算の主な事業

巴中学校の新築工事を行ったほか、福祉コミュニティエリアの整備、市営住宅や市民会館などの耐震改修工事を実施し、地域の振興・発展に配慮しつつ、都市基盤や生活環境の整備等に努めました。

このほか、フルマラソン、ハーフマラソンの同時開催、首都圏・東北地区等での観光プロモーション実施に加え、外国人観光客誘致のため、東

アジア、東南アジア地域において観光プロモーションを実施したほか、カナダ、アメリカにおいてシテイセールズを實施しました。

食の産業化の推進のため、

食ポータルサイト「おいしい函館」を開設したほか、「はこだてフードフェスタ」や台湾において函館物産展を開催しました。

また、「はこだてグルメサー

表1 平成29年度 一般・特別会計決算 (単位：万円)

会計別	歳入 (A)	歳出 (B)	差引額 (A)-(B)=(C)	翌年度へ繰り越す財源 (D)	質 額 支 収 (C)-(D)	
一 般 会 計	1,396億5,814	1,386億2,561	10億3,253	976	10億2,277	
特 別 会 計	港 湾 事 業	36億8,751	36億5,196	3,555		3,555
	国民健康保険事業	369億8,304	361億3,950	8億4,354		8億4,354
	自転車競走事業	145億7,137	145億6,634	503		503
	奨 学 資 金	3,459	3,432	27		27
	地方卸売市場事業	4億 757	4億 101	656		656
	介護保険事業	280億8,028	276億3,800	4億4,228		4億4,228
	発 電 事 業	602	522	80		80
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1億6,799	7,009	9,790		9,790
	後期高齢者医療事業	39億9,484	38億9,668	9,816		9,816
	小 計	879億3,321	864億 312	15億3,009		15億3,009
合 計	2,275億9,135	2,250億2,873	25億6,262	976	25億5,286	

カス」や「はこだてクリスマスファンタジー」など観光イベントの充実に努めたほか、いつもイベントで賑わうまち「フェスティバルタウンはこだて」を国内外に発信するウェブサイトを開設しました。

中心市街地や地域経済の活性化のため、「中心市街地活性化基本計画」に基づき、函館コミュニティプラザの開設のほか、駅前通や千代台電停および松風町電停の整備を行いました。

今後の行財政運営

少子高齢化や人口の減少などにより、今後においても厳しい財政運営を強いられることが予測されるため、29年度に策定した「函館市行財政改革推進プラン（2017～2021）」に基づき、これまで以上に効率的な行財政運営に努め、持続可能な行財政運営の確立を目指します。

都市基盤の整備

市では厳しい財政状況の中でも、都市基盤の整備に力を注いでいます。

29年度末では下水道普及率90・5%（前年比0・2ポイント増）、道路舗装率76・5%（前年比0・2ポイント増）となっています。

特別会計

特別会計は、特定の収入を財源として事業を行うもので、一般会計から分離して収支経理を行っています。

国民健康保険事業特別会計と自転車競走事業特別会計においては、28年度まで赤字と

企業会計

企業会計は、独立採算制をとっており、経済性を発揮するとともに公共の福祉を増進するよう努めています。

29年度企業会計決算は、表2のとおりです。

なお、企業会計には、一般会計からの繰入金51億4657万円が支出されています。

◎詳しい内容は市のHPに掲載しています。

お問合せ 財政課

☎ 21・3561

※ 水道・公共下水道・交通事業は企業局管理部経理課（☎ 27・8721）、病院事業は病院局管理部経理課（☎ 43・2000）へ。

1年間に市民1人当たりが負担する市税の金額

123,797円

市民1人当たりの決算額

民生費
福祉の充実などに
208,586円

土木費
道路や公園の整備などに
40,229円

商工費
経済・観光振興などに
35,619円

教育費
学校施設の整備などに
36,508円

衛生費
清掃事業や保健対策などに
33,604円

総務費
企画調整や税務、地域活動、防災活動、大学の運営などに
20,247円

消防費
消防施設の整備などに
2,621円

公債費
借入金の返済などに
54,156円

職員費
職員の給与などに
65,945円

その他
議会費、労働費、農林水産費、諸支出金など
35,303円

※金額は、一般会計の決算額を平成30年3月31日現在の人口26万174人で割ったものです。

平成29年度 一般会計決算内訳

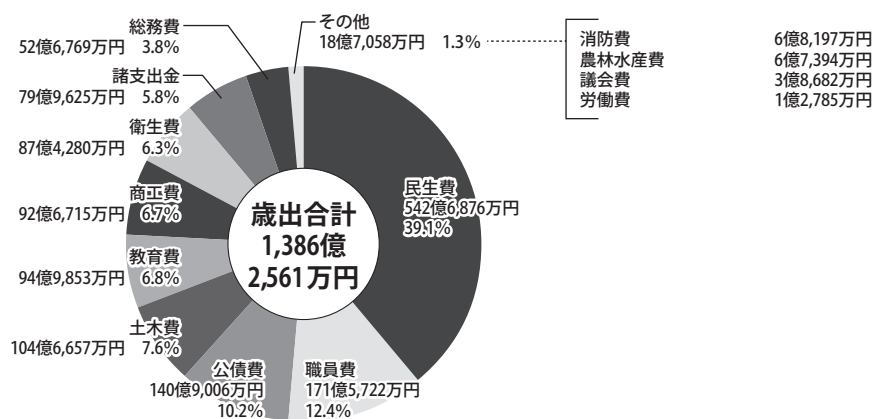
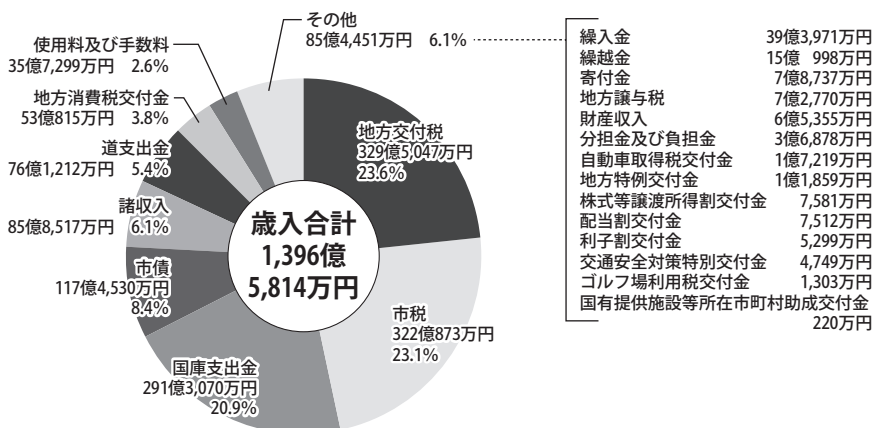


表2 平成29年度 公営企業会計決算

(単位: 万円)

会計区分	収益的収支	資本的収支	純利益 純損失	累積財源 過不足額 (注)	一般会計からの 繰入金	
水道事業	収入	51億7,411	7億9,837	3億7,308	28億2,158	1億749
	支出	47億2,965	23億7,267			
公共下水道事業	収入	79億5,007	34億2,055	9億8,197	20億9,113	17億1,073
	支出	68億9,015	59億2,890			
交通事業	収入	15億6,286	4億1,252	△2,388	3億8,673	3億8,353
	支出	15億6,476	5億6,770			
病院事業	収入	204億5,149	12億5,416	3億8,803	△31億7,330	29億4,482
	支出	200億2,489	23億3,124			
合計	収入	351億3,853	58億8,560	17億1,920	21億2,614	51億4,657
	支出	332億945	112億51			

(注) 病院事業の累積財源過不足額は、財政健全化法の資金過不足額を用いて算出しています。

HP 健全化判断比率および資金不足比率の公表

お問合せ 財政課 ☎21-3524

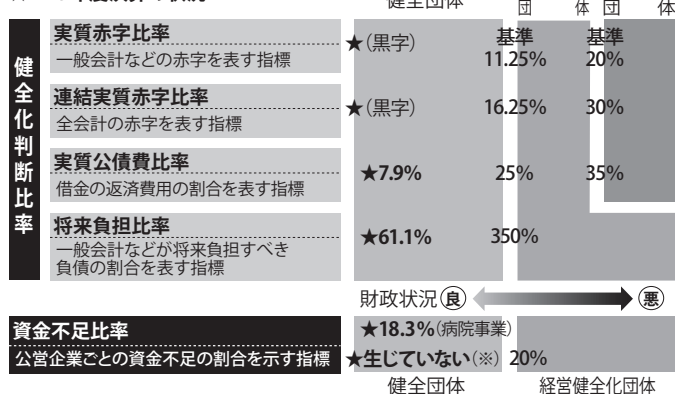
財政健全化法により、各指標が基準を超えた場合、議会の議決を経て財政健全化計画を策定し、改善に取り組むこととなっています。29年度決算での指標の状況は、右図のとおりです。詳細は市のHPに掲載しています。

健全化判断比率 全ての指標で基準を下回っています。

資金不足比率 病院事業で資金不足が生じていますが、全ての会計で基準を下回っています。

いずれの指標も基準未満となっていますが、これらはひとつの目安に過ぎないことから、今後も厳しい状況の中、さらなる財政の健全化を図っていきます。

★…29年度決算の状況



※ 水道、公共下水道、交通、地方卸売市場、発電の各事業